

「学ぶ力」	
成果	課題
◇ 個別探究から協働探究への展開に力を入れてきた成果から、意見の違う人と話し合おうとしたり、自分の考えがうまく伝わるように工夫したりしている姿が昨年度同様に共通指標の結果から成果として現れている。 ◇ 共通指標や ICT アンケートの結果から、「意見の違う人とも、よく話し合おうとしている」や「端末を使う活動で、友達の意見を進んで知ろうとしている」の肯定的回答の割合が高く、相乗効果をもたらしている。	◇ 共通指標アンケートの結果から、「自分が思っていることや感じていることを人に伝えている」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」生徒の割合が、札幌市全体と比較して下回っており、主体的に課題を解決に導こうとしたり、困難な課題の解決に向かおうとしたりする姿勢に課題が見られる。 ◇ 「自分で計画を立てて勉強している」ことに否定的な生徒の割合が一定数おり、生活を自らコントロールする力に課題の見られる生徒が多い。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇ 共通指標アンケートの相互承認に関連する「自分にはよいところがある」「振り返りを通して、自分ののびや成長を感じることがある」生徒の割合が高い反面、「自分が必要とされていると感じる」の項目で否定的な生徒の割合が一定数いる。このことから、自己承認の感度の高さと、他者への承認や他者からの承認の感度に課題があると同時に、教育格差によって自己肯定感の欠如に至っていることが考えられる。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

相互承認の感度の向上から、学ぶことを楽しいと思える資質・能力の育成

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
	◇ 校内研究の推進 研究主題「主体的・対話的で深い学びを目指す ICT 等を用いた協働探究」 副主題「協働探究の場面を授業で取り入れ、ICT を道具の1つとして活用」 →Google スライドやオクリンクプラスなどを活用し、課題への「個別探究」から対話によって思考を再構築する「協働探究」の充実 →知識や技能の習得と活用、思考場面をバランス良く配置し、学ぶことの楽しさを実感できる授業展開の工夫	◇ 稲穂中学校の3つの伝統「明るい挨拶」「美しい歌声」「きれいな校舎」を発展させる生徒会活動の充実 → 生徒の一人一人の声を引き出すための一人一台端末や廊下掲示板の利用 → 昼の校内放送を利用した各活動の活性化 ◇ 学年協議会を機能させた学年・学級係活動の充実 → 生徒の企画運営による集会の実施 → 一人一役による学級活動の充実
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について		
◇ 昨年度の研究副主題「課題探究的な学習における ICT 等を用いた個別探究」での実践を、協働探究場面に ICT を効果的に活用することで結びつける。 → 総合的な学習の時間などで、グループごとに発表用スライドを作成したり、教科授業において、共通の課題に対して個人の考えを持ち寄り、互いの意見や作業結果などを ICT 機器を通じて交流する、「口頭発表交流から可視化した発表交流」とすることで、相互交流の充実と思考の深化をはかる ◇ 本校で導入している Winbird を有効活用し、生徒の作品などを一斉送信したり、生徒の活動を PC 上で把握し、個別指導や全体提示などに活かす。		

<本プログラムの実行に向けて>

